

虚無

ある日 突然
大切な人を亡くし
心の色が消えた
何もかもが空っぽ
何も感じない

小さくなったその人を抱いて
電車の中から見たのは
空と海

空は蒼
海は碧
春なのに
凍り付くかのごとく 冷たい

いつしか 空と海は
凍心を ゆっくりと撫でた

今度こそ
泣いてしまっても
恥ずかしくても
いいから
大好き と 言いたい